

富山大学薬学部学生後援会

平成22年度 総会報告書（抄）

平成22年4月8日（木）13時30分～15時30分

富山大学杉谷キャンパス看護棟2階22講義室

次 第：

1. 会長挨拶
2. 学部長挨拶
3. 議長選出
4. 議事
 - 4-1. 平成21年度事業報告 (p. 1)
 - 4-2. 平成21年度会計報告 (p. 6)
 - 4-3. 新役員選出 (p. 7)
 - 4-4. 平成22年度事業予定（案）審議 (p. 7)
 - 4-5. 平成22年度予算（案）審議 (p. 8)
5. 閉会

（その他） (p. 8)

保健管理センター杉谷支所 酒井先生のお話

自由討論

学内見学

総会の開催に先立ちまして、会長の鍛冶様が諸用のため欠席であることが報告され、鍛冶様が御担当予定の議長が不在であることから、庶務の安東が議長の代理を行ない会を進行した。

1. 平成 21 年度事業報告

1. 平成 21 年度（第 12 回）総会の報告

平成 21 年 4 月 8 日、入学式終了後午後 1 時 30 分より平成 21 年度総会を看護棟 2 階 22 において開催いたしました。新会員（新入学生父兄）の他、薬学部教員も多数出席いたしました。村中前会長、畑中薬学部長の挨拶の後、審議に入り、平成 21 年度の事業報告と決算の承認、ついで 21 年度の正会員理事 31 名、教職員理事 9 名（TOEIC 講習補佐を含む）が承認されました。また、同時に新役員も承認されました。鍛冶会長の挨拶の後、事業計画と予算の審議に入り、昨年度の実績のうち薬剤師国家試験特別演習援助は無くなったため、TOEIC 講習補助を主目的とする課外教育援助は 50 万円、課外活動援助は 70 万円とする等の提案が承認されました。特に TOEIC 講習への学生の参加者を増やす方策について、意見交換が行われました。その後、父兄会員から、転学科、試験時期等について質問がありました。総会の終了後、ほぼ全員の希望で研究室見学を行いました。

2. 平成 21 年度活動

① 課外教育（国家試験対策・卒論発表会支援）

学生後援会 課外教育では、薬剤師国家試験対策、TOEIC 対策および卒業論文発表会を主に支援しております。

国家試験対策支援：

過去 4 年にわたり、学生の国家試験勉強のサポートとして、国家試験出題分野全教科の対策講習会（薬剤師国家試験予備校・薬学ゼミナールに依頼）を行うとともに年 4 回の模擬試験を斡旋して参りました。しかし、旧カリキュラム（4 年制）の学生の大部分が昨年 3 月で卒業しましたので、平成 21 年度の 4 年次生の国家試験受験予定者は 7 名でした。21 年度は、従来通りに講習会を行うと個人の費用負担額が増大することから、講習会を行わず、模擬試験の斡旋のみとなりました。在学中の大学院生で国家試験受験を希望している者の中から、模擬試験の受験希望者をつのり、総勢 24 名にて模擬試験を行いました。講習会がないため、例年より回数を 1 回増やし、5 回の模擬試験を行い、受験者の勉強意欲の向上に努めました。

TOEIC 講習会・TOEIC 受験支援：

学生後援会 課外教育では、平成 20 年度から創薬科学科学生の就職支援を目的に、TOEIC 学内講習会と TOEIC キャンパステストをスタートさせました。対象は創薬科学科 3, 4 年次学生。講習会は、3 年次と 4 年次いずれでも受講でき、その際、受講費、および、1 回分の教科書代と TOEIC 受験料を薬学部学生後援会が支援します（4 年次で 2 回目を受講する者は教科書代の

みの自己負担で参加可)。また、受験料(5000円)を自己負担すれば他の薬系学生・大学院生も講習会に参加できると、しています(TOEICキャンパステストは自己負担)。

今年度のTOEIC講習会とキャンパステストの日程、および参加状況は以下の表のようになりました。

【日程と参加状況】

実施日	内容	参加
H21年11月7日(土)	TOEIC講習会(2クラス) ・講師:(イーオン社) ・内容:TOEIC概要, 音読トレーニング, TOEIC講座(リスニング対策,リーディング対策, パート毎の解法,ひっかけ問題対策), 音楽による音読トレーニング, 自己学習の準備(メールでの学習報告の仕方について) ・時間:13:00~19:00	合計69名 うち; 創薬科学科 3年:29名 4年:32名 ほか 薬学科:3名 薬系大学院生:5名
	E-メールによる学習状況確認(イーオン社)	
H22年1月9日(土)	TOEIC-IPテスト(杉谷キャンパス)	受験した講習会参加の学生:32名 うち; 創薬科学科:30名 (3年15名,4年15名) ほか:2名

おおきな変更点が一つありました。21年度はTOEIC講習会を集中講義方式とし(1日で済ます),また,大手語学学校から講師を招くことにしたため,参加希望者が非常に多く,1クラス1講師での開講が難しい事が計画の途中でわかりました。そのため,2クラス同時開講することとし,その際の1クラス分の講師代および交通費を薬学部からの追加支援で補うこととしました。

TOEIC講習会の成果については,以下に示す通り,受講者の評価はおおむね良好と言えるものでした。1回の集中講義方式では時間的にも修得度という点でも一定の限界はありますが(下のアンケートの5.6.の項目を参照),レッスンや講師への満足度は高く(項目1,2,3,8,9),TOEIC学習への導入,学習意識浸透へのきっかけ作り,という目的は満たしていると言えると考えています。

【TOEIC 講習会についての事後アンケートの結果】

	わるい／いいえ		⇔	よい／はい	
	1	2		3	4
1. レッスンに満足したか？	0人	0人	1人	26人	42人
2. 内容を理解できたか？	0人	0人	1人	33人	35人
3. 音読は為になったか？	0人	1人	3人	20人	45人
4. TOEIC 対策は為になったか？	0人	1人	2人	27人	39人
5. 時間帯・曜日設定には満足か？	1人	4人	19人	25人	20人
6. 身につけている実感があるか？	1人	7人	29人	27人	5人
7. 今回の研修を今後も続けたいか？	0人	1人	21人	34人	13人
8. 教師には満足か？	0人	0人	1人	26人	42人
9. 教師の教え方は良いか？	0人	0人	3人	23人	43人

記述回答：

- ・最初と最後で CD のスピードが変わったように感じてすごかったです。
- ・声に出すとやっぱり覚えやすい。
- ・問題の解き方とかも聞きたかった。
- ・勉強の仕方がわかってよかった。
- ・練習を続けて行こうと思います。
- ・今までの英語とは違ってよかった。
- ・チェックシートをメールで送らないといけないと思うと、サボる気がなくなるので、良いと思います。
- ・継続して英語が身につくという実感が沸くよう頑張ろうと思いました。
- ・出来れば長期で継続な研修が良かった。
- ・長時間だったけれど、興味深く聞くことができとてもよかった。音楽を使った学習法がおもしろかった。
- ・音読ははじめは戸惑ったが、慣れてくると楽しさも感じる事ができて最初聞き取れなかった英文が聞き取れるようになったことは自分でも驚いた。
- ・リスニングの時間が長い方がよかった。
- ・英語を口に出して言うのがひさしぶりだったので、なかなか難しかったけど、ためになりました。

1 月に行われた TOEIC キャンパステスト（IP テスト）の成績は以下になりました。

【TOEIC キャンパステストの成績】

受験者数：32 名
・ 最高点： 715 点 ・ 平均点： 503 点 ・ 最低点： 325 点

卒業論文発表会支援：

平成 22 年 2 月 23 日に、平成 21 年度薬学部卒業研究発表会が本学杉谷地区体育館行われました。創薬科学科生は 1 年間にわたる卒業研究の成果を、薬学科生は中間発表として実務実習（事前学習）および共用試験の中断を除く約 8 ヶ月間の成果をポスターにまとめて発表しました。学生は、各自が作成したポスターをそれぞれ縦 120×横 180 cm（創薬科学科生用）および縦 90×横 120 cm（薬学科生用）のボードに掲示し、前半と後半の 2 グループに分かれて、それぞれ 1 時間、多数の来場者に説明して議論します。いたるところで活発な議論が繰り広げられ、会場は熱気に包まれておりました。来場した教員、大学院生、学部生（3 年次生を含む）の投票により、創薬科学科生にはベスト卒業研究ポスター賞 1 件と卒業研究ポスター賞 6 件が贈られ、薬学科生にはポスター賞 9 件が贈られました。

学生後援会では、課外教育支援の一環として、これらの賞に対する賞状と賞品（薬学科生は賞状のみ）を提供するとともに、会場では来場者向けの清涼飲料および菓子類の提供を行います。

した。

② 課外活動（部活動・サークル活動の資金援助）

各課外活動団体から出された申請書に基づき、薬学部学生の在籍者数や大会の主管など申請内容にともなう責務の大きさなどによって優先度の重みづけを行い、比例配分額を調整することで活動補助額を決定しました。各団体への補助金額は表1の通りです。

表1. 課外活動に対する学生後援会からの補助金額一覧

< 略 >

補助総額：700,000 円

③ 奨学資金援助

平成21年度には新たな奨学資金貸与はありませんでした。平成21年度中の返済は1件でした。これまでの貸与と返還状況は表2の通りです。

表2. 奨学資金援助実績と返還状況

< 略 >

④ 広報

本学薬学部のホームページに学生後援会用の欄が設けられています。ホームページは逐次アップデートし、内容の充実を図っております。平成21年度総会および保護者懇談会の報告を掲載すると共に（総会につきましては資料をPDF形式でダウンロード可能としました）、「学生の課外活動に関する援助」および「学生に対する奨学資金援助」の案内等も掲載しております。ご覧いただければ幸いです。

学生後援会ホームページ：<http://www.pha.u-toyama.ac.jp/koenkai/index-j.html>

⑤ 保護者と教職員会員との懇談会（保護者懇談会）

大学祭開催期間に合わせ、平成21年10月31日（土）の午後1時半より保護者懇談会を開催しました。約100名の保護者の皆さまにご参加して頂きました。鍛冶会長による御挨拶に続き、今中学部長による薬学部の現状に関して、および学生後援会担当教員から、国家試験対策、TOEIC対策、課外活動援助などの報告が順次行われました。その後、参加された保護者の皆さまからの質疑・要望などについて活発な御意見を頂き、教員の応答がありました。非常に有意義な懇談会を持つことができ、予定の2時間を越えました。

⑥ 入会状況

平成21年度の新規加入者は96名（新入生薬学科48名、新入生創薬科学科45名、2年生3名）でした。未入会の方には、本会の趣旨をお伝えし、ご加入をお願いしております。

II. 平成 21 年度会計報告

以下、本会計、緊急対策会計、奨学資金会計の収支計算表を順次ご報告申し上げます。

1. 学生後援会会計（本会計）

平成 21 年度の事業・予算計画に基づいて下記の通りに予算を執行しました。その詳細を以下にご報告申し上げます。（自 平成 21 年 4 月 1 日 ～ 平成 22 年 3 月 11 日）

表 3. 学生後援会会計（本会計）収支計算表

< 略 >

2. 緊急対策会計

平成 21 年度の緊急対策会計の収支計算表を、財源の部および積立の部それぞれについて、下記にご報告申し上げます。

表 4-1. 緊急対策会計収支計算表（財源の部）

< 略 >

表 4-2. 緊急対策会計収支計算表（積立の部）

< 略 >

3. 奨学資金会計

平成 21 年度の奨学資金会計の収支計算表を下記にご報告申し上げます。

表 5. 平成 21 年度奨学資金会計収支計算表

< 略 >

III. 平成 22 年度役員を選出(敬称略)

役員名簿

正会員理事

会 長：鍛冶 利幸

他 副会長 1 名、監事 1 名、理事 34 名

学内理事

副 会 長： 今中 常雄（薬学部長）

庶 務： 矢倉 隆之（薬品分子化学）、

[人事担当] 守田 雅志（分子細胞機能学）、片桐達雄（生物学）

課外教育・監査： 奥野 貴士（薬品物理化学）

課外活動・奨学資金： 林 利光（生薬学）

広報： 阿部 肇（薬化学）

会 計： 田口 雅登（医薬品安全性学）

TOEIC 講習補佐：名執 基樹（独語）

正会員理事および学内理事の紹介の後、新役員が承認されました。

IV. 平成 22 年度事業計画

課外活動援助、奨学資金援助、広報活動、保護者懇談会の開催、総会の開催などにつき、例年通り行う予定である旨が説明された。緊急対策積立・援助では、教員から徴収した費用のうち毎年 20 万円を積立でしていたが、使用することなく既に 200 万円を超えたためしばらく積立を中止することが了承された。課外教育援助については、国試対策は旧カリキュラムの学生及び免許未取得者に対し模試などの支援を行い、3 年目となる TOEIC 対策では従来どおり創薬科学科の 3 年生を中心に年 1 回の集中講習会を開講し、前年等で講習を既に受けた経験のある学生を中心にもう一クラスさらに上のクラスを開講する予定であることが報告された。

V. 平成 22 年度予算

平成 22 年度の薬学部学生後援会の本会計、緊急対策会計、奨学資金会計の 3 予算案は下記の通り、承認されました。

表 6. 学生後援会会計（本会計）予算

< 略 >

表 7. 緊急対策会計予算

< 略 >

表 8. 奨学資金会計予算

< 略 >

保健管理センター杉谷支所 酒井先生のお話

昨今、多くの学生が精神的不安定や様々な悩みを抱えていることが浮き彫りとなっています。保健管理センターには臨床心理士の先生方が常駐しており、学生の悩み等の親身になってお聞きし、対応をして頂いております。そこで、今回、保健管理センター杉谷支所 臨床心理士 酒井先生に先生の活動と学生の相談事項の例（履修上の問題や悪質な勧誘など）（薬学部全体で延べ相談件数が昨年度で 300-400 件）、保護者の方々への連絡体制（事務、教官との連携）等々についてお話して頂きました。

自由討論

自由討論では、創薬科学科から薬学科への転学科、創薬学科の学生が薬剤師国家試験受験資格を得られる可能性、国家試験の合格率を上げるための方策などについて活発な質疑応答がなされました。

学内見学

希望する父兄の方々に対し、学内理事が 4 つ以上の班（各班 8 名前後）に分かれて講義・実習棟、薬学研究棟、共同利用棟、付属図書館など順次ご案内しました。